

平成24年度 まちづくり戦略会議

# 市制施行50周年記念事業の

## あり方についての提言

戸田市まちづくり戦略会議

平成25年2月

## 目 次

1. はじめに
2. 周年記念事業について
  - (1) 自治体の周年記念事業
  - (2) 戸田市の周年記念事業
3. 50周年記念事業の概要
  - (1) 50周年記念事業のコンセプト
  - (2) キャッチコピーの設定
  - (3) 事業実施期間
  - (4) 事業の構成
4. 準備体制と予算措置
  - (1) 検討段階
  - (2) 準備・実施段階
  - (3) 行政の内部体制
  - (4) 予算措置
5. スケジュール
6. おわりに

### 〈参考資料〉

1. 事業案について
2. まちづくり戦略会議の審議経過
3. まちづくり戦略会議メンバー

## 1. はじめに

戸田市は昭和 41 年(1966 年)10 月 1 日に県下 24 番目、全国で 561 番目の市として誕生し、来る平成 28 年に市制施行 50 周年を迎える。

本年度の「まちづくり戦略会議」(以下、戦略会議という。)のテーマ<sup>1</sup>は、市制施行 50 周年という大きな節目に挙行すべき記念事業のあり方、方向性についての検討であった。

市長より示された基本となる考え方は、「市制施行 50 周年という大きな節目に、市民とともに祝う重要なイベントとして記念事業をとらえる。形式的な行事ではなく戸田市が未来に向け歩みを進める機会としたい。」というものであり、このことを念頭に議論を重ねた。

なお、本提言は 50 周年記念事業に向け、そのあり方、方向性について戦略会議としての考え方をまとめたものである。今後、方向性について意思決定がなされた後には、実施に向けて早期に市民や企業等<sup>2</sup>の皆様に参加いただく検討準備体制を構築し、50 周年に向け市全体の機運を高めながら進めるのが望ましい姿であることを申し添える。

## 2. 周年記念事業について

### (1)自治体の周年記念事業

自治体が行う周年記念事業とは、市制や町制の施行より一定年が経過した年に行われる記念事業である。開催頻度や規模などは異なるが、多くの自治体で実施されている。

内容は、祝賀式典をメイン事業に据え、冠事業<sup>3</sup>、企画事業<sup>4</sup> を組み合わせながら実施している自治体が多い。実施期間は、メイン事業を中心に該当の年(度)中としていることが多いようである。また、該当年(度)の前年より、機運を盛り上げるためのプレイベントを開催している事例もある。

いずれにしても、周年記念事業に対する位置づけや財政状況など、それぞれの自治体の状況により実施内容は千差万別である。

### (2)戸田市の周年記念事業

検討を進めるにあたり、まず戸田市における過去の周年事業を調査し、近年の状況を把握した。本市では、5 年毎に周年事業を実施してきた経緯があり、記録が正確に把握できた 35、40、45 周年の状況をまとめたものが次表である。事業の傾向を整理すると、本市においても、冠事業と、企画事業により構成されていることがわかる。また、実施期間は年度内 1 年間にわたっていた。

<sup>1</sup> 戦略会議は、毎年市長よりテーマを提示され、調査研究を行い市長へ提言書を提出している。

<sup>2</sup> 本稿で企業等とは、市内事業者及び市関連団体を想定している。

<sup>3</sup> 本稿では、既存の事業に周年の冠をつけ実施するものを「冠事業」と呼ぶ。

<sup>4</sup> 本稿では、周年記念にあたり新たに企画する事業を「企画事業」と呼ぶ。

○戸田市の周年事業実施状況

周年	内 容	実施期間
35周年	埼玉県レクリエーション大会・戸田大会(企画) 郷土博物館企画展「21世紀のこどもたちへ」(冠) // 特別展「高柳重信展」(冠) 戸田橋花火大会(冠) 35周年記念式典(表彰式・記念コンサート)(企画) コミュニティバス愛称募集・決定(企画) 戸田市美術展覧会(企画・第1回) 環境フェア(企画・第1回) ゴミゼロ運動(冠・事業開始20周年) 健康フェスティバル(冠) 景観形成フォトコンテスト(冠)	平成 13(2001) 年度中
40周年	埼玉EMサミット in とだ(企画) 郷土博物館特別展「時は弥生から古墳へ」(冠) 戸田マラソン in 彩湖(冠) 市民ミュージカル(企画・第1回) 戸田音楽祭(企画・第1回) 議場ミニコンサート(企画) 芸能人の多彩な美術展(企画) 戸田橋花火大会(冠) NHK公開番組「のど自慢」(企画) こども金魚釣り大会(冠) 植木市(冠) 彩湖・春いちばんウォーク(冠)	平成 18(2006) 年度中
45周年	産業推進交流会(冠) 戸田ふるさと祭り(冠) 敬老会(冠) 老人スポーツ大会(冠) 市民体育祭地区大会(冠) 第29回戸田マラソン大会(冠) 市民ミュージカル(冠) 戸田市文化祭(冠) NHK公開番組「スクールライブショー」(企画) 商工祭(冠)	平成 23(2011) 年度中

	収穫祭(冠) 賀詞交歓会(冠) 数学コンテスト(冠) 国語コンテスト(冠)	
--	--	--

※事業名の( )表示について

(冠)=冠事業。既存事業に周年の冠をつけ実施したもの

(企画)=周年記念にあたり新たに企画した事業。その後継続されているものは第1回としている。

### 3. 50周年記念事業の概要

事業の検討にあたっては、市長より提示された50周年記念事業の基本的考え方「大きな節目に市民とともに祝う重要なイベントとして記念事業をとらえる。形式的な行事ではなく戸田市がさらに未来に向け歩みを進める機会としたい。」をベースとして、まず全体の骨格となる、50周年記念事業のコンセプトを検討した。

戦略会議での議論を集約すると、次のような内容であった。

- ・市民とともに、戸田市の半世紀にわたる歴史、歩んできた道程を振り返るとい位置づけが基本となる。
- ・それに加えて、その先の未来を見通し希望が感じられるような内容を考える必要がある。
- ・全市民挙げて祝うという機運の醸成が必要。
- ・市民が改めて戸田市の良さに気付き、郷土への誇りを感じ愛着をさらに高めるきっかけとしたい。
- ・事業実施にあたっては、戸田市の認知度や存在感が高まるような工夫を取り入れる。
- ・50周年記念事業を、戸田市の素晴らしさを市内外に向けて発信する絶好の機会ととらえ、積極的な情報発信を進める。

以上の議論を踏まえ検討を進め、コンセプト案を次のようにまとめた。

#### (1)50周年記念事業のコンセプト

- ①行政と市民、企業等が一体となり、戸田の歴史と歩みを振り返り、未来へ羽ばたく起点とする。
- ②郷土への誇りと愛着心の醸成を図る。
- ③シティセールスの重要な機会ととらえる。

## (2) キャッチコピーの設定

コンセプトの検討にあたっては、市全体の盛り上げを図るとともに、発信力向上も兼ねる目的で、事業趣旨を端的に表すことのできるキャッチコピーを作成してはどうかという意見があり、他自治体の事例調査、本市としての案を検討した経過がある。キャッチコピーについては、他自治体では公募にて選定を行っている事例も見受けられることから、現時点では行政側からあえて提示せず、今後市民を交えた準備段階で検討すべきとの意見もあった。逆に、提示することで議論が深まるという意見もあり、最終的には、検討経過を提示することにより、今後に活かせるのではないかとの結論となった。

ここでは、他自治体の事例調査結果と、本市のキャッチコピー案を記すが、あくまで今後の検討組織での参考として提示するものである。

### ① 他自治体における周年記念事業のキャッチコピー ※( )内は募集手法

- ・北九州市「結びあう ちから 未来へ 響きあう」(公募)
- ・大口町「昔も現在(いま)も 未来もずっと 愛があふれる みんなの大口」(広報にて候補を提示して投票)
- ・小平市「こんなに だいすき 小平市！」(公募、投票)
- ・市原市「未来へ向けて 夢発信 いちはら」(公募、実行委員会で審査)
- ・渋川市「50年! 輝け渋川 ひろがれ未来」(公募)
- ・越谷市「歩みつづけて半世紀 さらに飛躍の新世紀」(公募、選考会)
- ・西之表市「夢を紡いで50年 さらに飛躍の西之表市」

### ② 戸田市の案

フレーズに以下の2点を入れ込むことを前提に検討した。

- ・50周年記念事業のコンセプトの反映
  - ・戸田市の魅力や強み=売り、を活かす
- (参考:「平成21年度戸田市におけるシティセールスの必要性と成功する要件について」戸田市政策研究所・戸田市まちづくり戦略会議)

### ○ キャッチコピー案

- ・「漕ぎ続けた50年 そして未来へ」
- ・「未来へ漕ぎ出せ 輝く戸田」
- ・「振り返れば50年 今未来へ とともに漕ぎ出す」
- ・「水と緑 そして笑顔あふれる 未来のとだへ」
- ・「祝50周年! 幸せの花火 打ち上げよう!」
- ・「50年 人も緑も 輝ける 未来へいこう とともに歩もう」
- ・「みんなで祝おう 50周年 みんなでつくろう さらに輝く50年」
- ・「歩み続けて50年。 今こそ感じて 戸田市の魅力!」
- ・「市制50周年 市民満足度日本一のまちへ」

### (3)事業実施期間

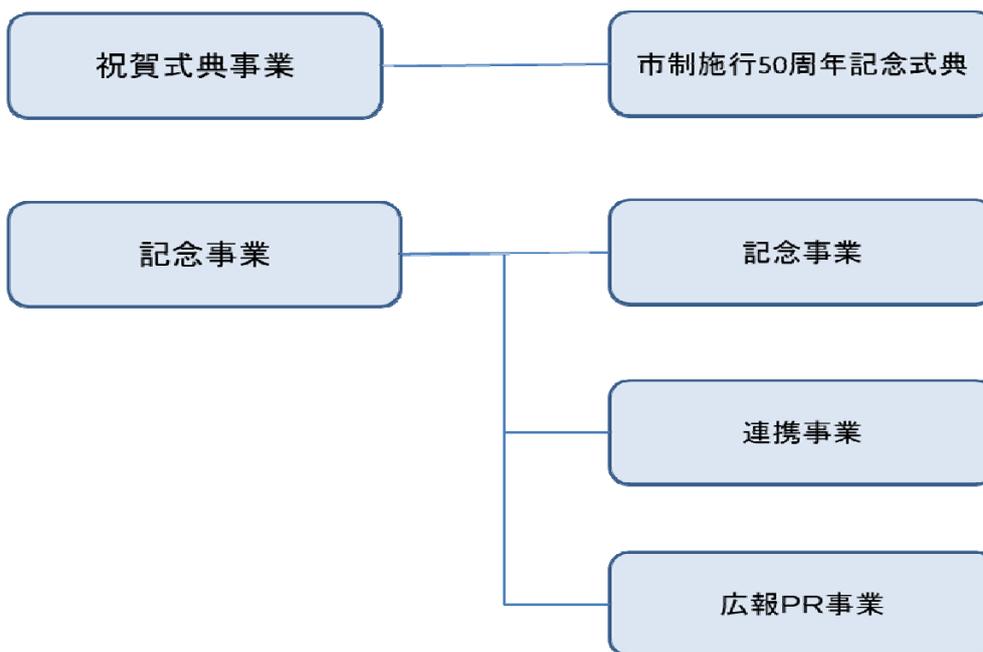
(1)の事業コンセプトを達成するために様々な事業を実施することとなるが、本市の過去の実績を見ても、事業は1年度間を通じ実施されている。そこで、事業の実施スケジュールや、市内の機運醸成への貢献などを考え、ある程度実施期間を長くとることが重要と考えられた。そこで、事業実施期間は50周年を迎える平成28年10月1日を中心とし、平成28年度内とすることが適当である。

事業期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

### (4)事業の構成

先述の、他自治体の周年事業、本市の周年事業の内容と実施状況等を調査していくと、事業には一定の傾向があることがわかる。本市において実施が想定される事業を考慮しながら整理すると、次図のような仕分けができた。

図：事業の構成



それぞれの事業の内容は、次のとおりである。

#### ①祝賀式典事業

市制施行50周年記念日である平成28年10月1日（土）に実施すべき、一連の事業の中心となる祝賀式典「市制施行50周年記念式典」である。市民をはじめ、姉妹都市・友好都市等からの来賓など、多くの方に参加いただき、盛大に祝う内容を想定する。他の記念事業の日程についても、可能なものは、この日、若しくは近辺に集中させることで、効果を高めることが期待できる。

## ②記念事業

50周年を記念して、行政や市民、企業等、それぞれの主体により実施される事業である。記念事業は、実施主体、事業の性格により、以下の3つに分けられる。

### ・記念事業

行政が主体となって実施する記念事業である。機運を盛り上げるために、幅広い分野で展開することが望まれる。例年実施している事業に冠を付け事業内容を周年に合うよう工夫するもの、新たに企画し1回限り実施するもの、その後も継続していくものなど、様々な形態が考えられる。

### ・連携事業

市民や企業等が実施する事業である。行政は50周年記念の冠付けや、後援・共催などの形で関与する。

### ・広報・PR事業

広報紙、広報番組、SNSなど、各種媒体を使った積極的な情報発信により、市全体の50周年を祝う機運を高める。これら一連の活動は、シティセールスの一環となることを常に考慮する。

## 4. 準備体制と予算措置

次に、準備段階、実行段階での組織体制について検討を行った。

先のコンセプトにも示したとおり「行政と市民、企業等が一体となり」進めることを考えると、準備段階の早期から市民や市内の企業等に参加いただく体制を構築し、機運を高めながら進めることが必要である。このことを前提とし、次図のような体制を整え準備を進めることが望ましいとの結論に至った。また併せて、事業実施に向けた予算措置、これら検討結果に基づくスケジュールについても整理を行った。

### (1)検討段階

本市としての事業実施の方針を定め、どのように実施するのか、計画を策定する段階である。この検討段階においては、平成25年度に市民や企業等からの参加を得て、計画の策定を担う「検討委員会」を設置する。なお、市民については、関連団体からの選出のほか、公募枠も設定するものとする。

### (2)準備・実施段階

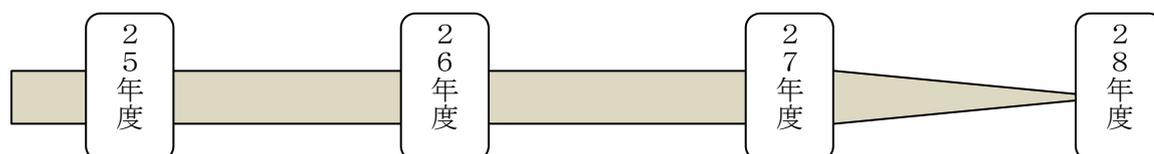
平成28年度の実施に向け、準備を進め実施に至る段階である。この準備・実施段階においては、平成27年度に事業全体の中心となる祝賀式典の運営・実施を担う「実行委員会」を設置する。委員構成は検討委員会と同様、市民や企業等によるものとするが、計画から実施への継続性を確保するため、市民については検討委員のメンバーの参加が得られるよう働きかけることが望ましい。

これら 2 委員会の委員選考においては、幅広い意見が期待できる委員選出となるよう募集方法等を考慮することが望まれる。

### (3)行政の内部体制

行政の体制としては、組織横断的に各部に事業がまたがることから、各部長により構成される部長会議により事業全体の統括を行うことが望ましい。検討委員会、及び実行委員会の事務局、事業全体の進捗管理については政策秘書室が行うものとし、政策秘書室は各委員会での審議内容や決定事項を部長会議に報告、必要に応じ付議していくものとする。また、準備にあたっては、事務局体制を充実させるために、実行委員会を設置する平成 27 年度に、政策秘書室に担当者 1 名を配置することが望ましいと考えられる。

#### 準備体制



#### 50 周年事業 検討委員会

構成：行政や市民、企業等

役割：事業全体の構想や計画の策定

設置期間：平成 25 年度～26 年度

#### 50 周年祝賀式典 実行委員会

構成：行政や市民、企業等(検討委員会メンバーが望ましい)

役割：祝賀式典の準備、運営・実施

設置期間：平成 27 年度～28 年度

#### 行政の体制

部長会議：事業全体の統括

政策秘書室：検討委員会、実行委員会の事務局。平成 27 年度に準備担当者配置。

事業担当課：平成 26 年度から必要な年度に予算措置を行い、準備を進める。

#### (4) 予算措置

記念事業はそれぞれの事業担当課において実施することとなる。各事業において準備期間も異なることから、事業にかかる予算は各課において必要な年度 of 予算措置を行うものとする。

#### 5. スケジュール

前項までの検討結果を基に、スケジュール概要として取りまとめたものが次表である。

市制施行 50 周年記念事業スケジュール概要

周年	45 周年	46 周年	47 周年	48 周年	49 周年	50 周年
年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
準備組織		戦略会議 (方針提案)	部長会議 →→→  検討委員会 (計画の策定)	→→→→→→→→→  →→→→→→→→→	担当者配置(政策 秘書室)  実行委員会→→ (祝賀式典の準備)	祝賀式典実施
事業担当課			26 年度予算要求 (準備 2 年間の事業)	準備①→→→→→  27 年度予算要求 (準備 1 年間の事業)	準備②→→→→→  準備①→→→→→  28 年度予算要求 (当年度準備の事業)	事業実施  事業実施  事業実施
広報PR					広報紙、HP、SNS 民間情報誌等を活用し PR を展開	→→→

#### 6. おわりに

本年度の研究テーマ「市制施行 50 周年記念事業のあり方」について各部局の視点から検討を重ね提言に至った。事業コンセプトとしてもとりまとめたように、市制施行 50 周年記念事業は、半世紀を迎える市制の歴史と歩みを振り返り祝うという趣旨だけでなく、行政と市民、企業等が一体となり、オール戸田の体制で、未来に向け戸田市がどう進むべきかを考え、スタートを切る起点となるような事業としたい。また、実施する様々な事業により、市民の戸田市に対

する関心が更に深まり、郷土への愛着心が高まるきっかけとなることが望まれる。

そのためには、まず行政内部の機運を高め、次に市民の機運を醸成し、行政や市民、企業等、地域を担う主体を巻き込みながら、協働し取り組みを進める必要がある。本提言が、その端緒となれば幸いである。

## <参考資料>

### 1. 事業案について

検討の過程で、50周年事業全体のイメージとボリュームを把握するために、現段階で考えられる各部局の実施事業案のとりまとめを行った。その際の議論では、これから市民参加による検討委員会を設置し検討を進めるのであれば、この段階で市が具体的な事業を示すことにより、事業イメージが固定化されてしまうのではないかという意見も出された。しかし、事業を具体的に示すことで、検討がスムーズに行えるというメリットと、あくまで現時点における事業予定であり、検討委員会で新たな事業等の提案があれば、それを事業化することも可能であるという視点から作成したものである。また、実施事業の検討を早期に行政内部にアナウンスすることで、行政内部の機運を高める効果も期待できると考えられた。

事業一覧は、担当組織別に整理している。前述したように、この事業一覧は現時点での予定事業であり、今後の検討の過程で、あるいは実施年度に向けた予算措置の中で変更される可能性があることを申し添える。

市制施行50周年記念事業案一覧表

No.	部局名	担当部署	事業名	事業内容(概要)	準備開始年度	予算化年度	備考	事業分類	区分
1	政策秘書室	政策秘書室	検討体制の整備	市民や関係団体等による「検討委員会」を設置する。市民委員は公募も行う。	H25	H26		運営事業	企画
2	政策秘書室	政策秘書室	50周年事業構想基本計画策定	実施事業についての基本計画を、「検討委員会」でとりまとめる。	H25	H26		運営事業	企画
3	政策秘書室	政策秘書室	庁内検討実施体制の整備	部長会議において事業全体の統括を行う。また、各委員会や事業全体の進捗管理等を政策秘書室にて行う。	H27	H28		運営事業	企画
4	政策秘書室	政策秘書室	実施体制の整備	市民や関係団体等による「実行委員会」を設置する。	H27	H28		運営事業	企画
5	政策秘書室	政策秘書室	市制50周年記念式典	市制施行50周年記念日の平成28年10月1日に記念式典を実施する。	H27	H28	姉妹都市や友好都市からの来賓を迎える。	記念式典	企画
6	政策秘書室	政策秘書室	公開TV番組の誘致	NHKの公開番組を誘致する(例:40周年「のど自慢」、45周年「スクールライブショー」)。	H27	H28		記念事業	企画
7	政策秘書室	政策秘書室	記念ロゴマーク、キャッチフレーズ作成	事業パンフレット等に使用するロゴマークやキャッチフレーズを作成する。市の公式キャラクター選定とも調整する。	H26	H27		広報PR事業	企画
8	政策秘書室	政策秘書室	記念住民の表彰	平成28年10月1日の初住民登録者や婚姻届出夫婦、あるいは平成28年10月1日出生児等に記念品を授与する。	H27	H28		記念事業	企画
9	政策秘書室	政策秘書室	競艇「戸田市50周年記念 戸田杯」の開催	戸田営として競艇組合と連携し、大々的に行う。若しくは、日本財団に対してSGLレースの誘致を働きかける。	H27	H28	戸田競艇組合と連携して実施する。	連携事業	企画
10	政策秘書室	政策秘書室	50周年広報特集	記念特集を企画。情報発信の場としても活用する。	H27	H28		広報PR事業	企画
11	政策秘書室	政策秘書室	専用ホームページの作成	50周年を積極的にPRするため、専用ホームページを開設する。	H27	H28		広報PR事業	企画
12	政策秘書室	政策秘書室 経済振興課 (観光協会)	バス釣り大会	外来種駆除と話題作りを兼ねて、企画する。リリースはしない。観光協会が主管する。	H27	H28	埼玉県やス戸田競艇組合、ボート協会等との調整が必要。	記念事業	企画

市制施行50周年記念事業案一覧表(続き)

No.	部局名	担当部署	事業名	事業内容(概要)	準備開始年度	予算化年度	備考	事業分類	区分
13	政策秘書室	政策秘書室 都市計画課 公園緑地課 管財検査課	ポートコースへの便益 施設導入	ポートコース(県立公園内)にて、売店やレストランといった施設の開設を計画する。 他の公園における事例も含め、公園内でどのような活動を行うか検討(研究)し、50周年記念を機会に、県と調整を行う。	H25	H28	政策研究所にて研究し、研究成果を基に、実施の方向性を検討していく。 研究は、都市計画課、公園緑地課、管財検査課等のメンバーによるプロジェクトチームにより行う。	記念事業	企画
14	政策秘書室	政策秘書室 教育委員会 文化スポーツ課 児童青少年課	大学との連携	協定を締結している大学や艇庫所持大学等と連携し、催事を行う。ポート競技は、大学と小中学校を結び、大会を行う。ポート以外にも、書道部や華道部、茶道部等と市内の文化協会とがコラボレーションした催事を行う。	H25	H27		記念事業	企画
15	総務部	経営企画課	戸田市の公認統一キャラクター選定	戸田市の統一キャラクターを選定し、活動するためのルール作りをする。28年度当初より活動開始。着ぐるみ等の作成や管理運営については、管轄部署も含め、今後検討を要する。	H26	H27		記念事業	企画
16	財務部	管財検査課	公用車によるPR	市制施行50周年の旨を記載した、マグネットシートを公用車に貼り市民へPRする。	H27	H28		広報PR事業	企画
17	財務部	税務課	市オリジナルナンバープレートの作成	原動機付き自転車のオリジナルナンバープレートを作成する。	H27	H28		記念事業	企画
18	財務部	収税推進室	戸田市納税促進標語 書道展	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。50周年記念特別賞を設置する。	H27	H28	平成28年度は、書道展も第30回記念となる年である。	記念事業	冠
19	市民生活部	コミュニティ推進課	ふるさと祭り	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	ふるさと祭り実行委員会にて実施する。	連携事業	冠
20	市民生活部	コミュニティ推進課	ふらっと広場 "TOMATO"	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H28	H28	指定管理者が実施する。	連携事業	冠
21	市民生活部	コミュニティ推進課	男女共同参画センター	記念講演の企画や、ピリプフェスタを冠事業にする。	H27	H28		記念事業	冠
22	市民生活部	環境クリーン室	とだ環境フェア	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	戸田環境フェア実行委員会にて実施する。	連携事業	冠
23	市民生活部	環境クリーン室	キャンドルナイトinとだ	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	キャンドルナイト実行委員会にて実施する。	連携事業	冠
24	市民生活部	文化スポーツ課	文化祭	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
25	市民生活部	文化スポーツ課	戸田マラソン	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
26	市民生活部	文化スポーツ課	全国市町村交流レガッタ	全国市町村交流レガッタ戸田大会を50周年記念事業として開催する。	H27	H28		記念事業	企画
27	市民生活部	文化スポーツ課	NHK公開ラジオ体操	夏休みの公開ラジオ体操を戸田市へ誘致する。	H27	H28		記念事業	企画
28	市民生活部	文化スポーツ課	文化体育振興事業団との コラボ企画	50周年記念コンサートを企画・開催。50周年記念市民ミュージカルを企画する。	H27	H28		連携事業	企画
29	市民生活部	経済振興課	戸田橋花火大会	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
30	市民生活部	経済振興課	戸田市収穫祭	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
31	市民生活部	経済振興課	商工祭	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	商工祭実行委員会にて実施。	連携事業	冠
32	市民生活部	経済振興課 (観光協会)	50周年記念番組の制作	記念番組等を企画(「ふれあい戸田」を活用)。戸田ゆかりの人や出来事を作品にする。また、プロモーションビデオとして利用する。	H26	H27		連携事業	企画
33	福祉部	福祉総務課	地域福祉祭り	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠

市制施行50周年記念事業案一覧表(続き)

No.	部局名	担当部署	事業名	事業内容(概要)	準備開始年度	予算化年度	備考	事業分類	区分
34	福祉部	障害福祉課	福祉作業所50周年製品	市立福祉作業所において、50周年事業製品の開発、製作、販売をする。(和菓子など)	H27	H28		連携事業	企画
35	福祉部	長寿福祉課	敬老会	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
36	福祉部	長寿福祉課	老人スポーツ大会	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
37	福祉部	福祉保健センター	健康福祉まつり	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	福祉や健康づくりの活動に取り組む参加協力団体と市民の交流を図る。	記念事業	冠
38	福祉部	福祉保健センター	ピンクリボンウォーク	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
39	こども青少年部	こども家庭課	50周年記念子育て講演会	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	事業案:戸田公園駅前子育て広場で実施の講演会を拡大する(講師、会場等)。	記念事業	冠
40	こども青少年部	保育幼稚園課	戸田子どもまつり	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	事業そのものの企画も未定であるが、実施する際には、民間保育園とも連携して実施する。	記念事業	冠
41	こども青少年部	児童青少年課	新こどもの国や児童センターでのイベント	冠事業として、イベントのパンフレットにロゴ等の印刷と、戸田市や施設の歴史を一ロメモ等で掲載する。	H27	H28	民間事業者の運営(予定)のため、調整が必要。	記念事業	冠
42	こども青少年部	児童青少年課	成人式	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28	はたちの集い実行委員会にて実施する。	記念事業	冠
43	都市整備部	公園緑地課	植栽イベント	現在、市と県とで事業を進めている荒川水循環センター上部公園(5号、7号)へ、平成23年度に学校等(笹目小、美谷本小、美女木小、笹目東小、ささめ幼稚園)で育苗したドングリを植栽する。	H27	H28	公園整備に合わせて実施のため、県との十分な調整が必要である。	記念事業	企画
44	市民医療センター	市民医療センター	新施設におけるイベント	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
45	消防	総務課	消防出初式	既存の事業である消防出初式と消防総合演習を同時開催とし、50周年記念事業として内容の充実を図る。	H27	H28	事業例:仮設訓練棟賃借料、資器材等の購入、設営の委託等。	記念事業	冠
46	消防	予防課	消防防災フェア	既存の事業を50周年記念事業として内容を充実させる。	H27	H28	事業例:資器材等の購入、設営の委託等。	記念事業	冠
47	教育委員会	教育委員会	小中学校音楽祭	50周年を記念して、市内全小中学校が一堂に会して、金管バンド等の披露会を文化会館で実施する。	H27	H27		記念事業	冠
48	教育委員会	教育委員会	子ども展の開催	市内全小・中学校の児童生徒に、50年後の未来を創造タイムカプセル等を埋めるなどの式典の実施する。	H27	H27		記念事業	冠
49	教育委員会	教育委員会	市内小中学校記念行事	市内の小中学校で、市制50周年を記念した式典の実施する。	H27	H27		記念事業	冠
50	教育委員会	教育委員会	50周年記念作文・絵画コンクールの実施	戸田市の未来に向けた作文・絵画コンクールの実施。10月1日の記念式典にて表彰する。	H28	H28		記念事業	企画
51	教育委員会	生涯学習課	市民大学 記念講演	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H28		記念事業	冠
52	教育委員会	教育委員会(郷土博物館)	戸田の歴史と未来 特別展	冠事業として企画・開催する。また、印刷物や配布物によるPRも行う。	H27	H27		記念事業	冠
53	教育委員会	教育委員会(郷土博物館)	市制50周年記念誌の刊行	戸田市史通史編刊行後25年が経過したことから、続編として刊行する。	H26	H28	26年度～編集開始、28年度発行	記念事業	企画
54	上下水道部	上下水道部(水道業務課)	災害備蓄用ペットボトル水製造及び配布事業	既存事業内で、戸田市の井戸水のPRと50周年記念を合わせ、ペットボトル水を水道週間等のイベント時に市民へ配布する。	H27	H28	ペットボトル水製造業者への委託。製造予定数20,000本のうち、約5,000本を配布する。	記念事業	冠
55	全部局	全部局	封筒によるPR	各部署で印刷・利用している封筒に50周年記念ロゴマークを印刷し、市民へPRする。	H27	H28	全庁的な取り組みとして実施する。	広報PR事業	企画

## 2. まちづくり戦略会議の審議経過

第1回	<p>平成24年7月31日 13:30~15:00</p> <p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●政策研究所の研究テーマについて（報告）</li> <li>●まちづくり戦略会議のテーマについて             <ul style="list-style-type: none"> <li>①戸田市シティセールス戦略の進捗管理について 各委員により進捗状況を事務局に報告することとした。</li> <li>②市制施行50周年記念事業について 基本方針アウトラインを事務局でとりまとめ次回に諮ることとした。 また、記念事業案を各部局内で照会・とりまとめた上、事務局に報告することとした。</li> </ul> </li> </ul>
第2回	<p>平成24年10月23日 13:30~15:00</p> <p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●戸田市シティセールス戦略進捗管理報告書の確定について</li> <li>●市制施行50周年記念事業について             <ul style="list-style-type: none"> <li>①基本方針アウトラインについて キャッチフレーズ案とスケジュール修正について事務局でとりまとめ、次回に諮ることとした。</li> <li>②記念事業案の各部局提出案について 検討案件について、各部局に持ち帰り、担当課と再検討することとした。また、新たな事業案も検討することとした。</li> </ul> </li> </ul>
第3回	<p>平成24年11月26日 15:00~16:00</p> <p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市制施行50周年記念事業について             <ul style="list-style-type: none"> <li>①基本方針アウトラインの修正案について</li> <li>②記念事業案一覧表について 上記①及び②について議論した内容を事務局がとりまとめ、次回会議に提言書（案）として諮ることとした。</li> </ul> </li> </ul>
第4回	<p>平成24年12月27日 10:00~10:30</p> <p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市制施行50周年記念事業について             <ul style="list-style-type: none"> <li>①提言書(案)について</li> </ul> </li> </ul>

### 3. まちづくり戦略会議メンバー

平成 24 年度戸田市まちづくり戦略会議メンバー			
	職 名	氏 名	備 考
1	政策秘書室長	山本 義幸	
2	総務部次長	田熊 幹二	副会長
3	財務部次長	福井 千澄	
4	市民生活部次長	新井 宣夫	
5	福祉保健センター所長	中川 幸子	
6	こども青少年部次長	三木 由美子	
7	都市整備部次長	菊池 利春	
8	市民医療センター次長	町田 正義	
9	上下水道部次長	吉田 孝	会 長
10	消防本部次長	森谷 精太郎	
11	教育委員会事務局次長	江添 信城	